



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
いはら 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第243号  
2015年11月23日  
発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 急増する生活保護受給世帯

この間、党市議団に寄せられる生活相談のなかで、最も多くなっているのが生活保護に関する相談です。「脳梗塞を患い、年金でやりくりしてきたが家賃・国保料・かさむ医療費の支払いで生活できない」「入院生活のなか医療費の支払いで、家賃が払えない」など、連日のように相談が寄せられています。

八千代市の生活保護受給者は2015年4月現在、1487世帯2039人、保護率10.67%（人口1000人あたりの人数）となっています。

## 生活保護類似都市との比較



生活保護類似都市との比較							
	2010年7月		2015年4月		比較		保護率
	世帯	人数	世帯	人数	世帯	人数	
八千代市	1,210	1752	1,487	2039	277	287	10.67
習志野市	1,039	1,435	1476	1961	437	526	11.66
佐倉市	814	1,151	885	1223	71	72	7.13
流山市	838	1,244	1080	1552	242	308	8.96
松戸市	5,253	7,690	6866	9493	1,613	1,803	19.70

## 生活保護切り捨ての安倍自公政権

安倍内閣は、税と社会保障の一体改革として、消費税の増税を進めながら、年金・医療・介護・生活保護など社会保障に対する攻撃を強めています。

その一方で、空前の大もうけをしている大企業などの法人税の減税については、速やかに20%台まで削減するという逆立ちした政治を行っています。

特に、生活保護費に対する攻撃は、高齢加算の廃止、生活扶助費の引き下げ、住宅扶助の引き下げなど、まさに「切れ目のない生活保護費削減」ともいえるべき血も涙もない負担増が押しつけられています。

## 相談活動のなかで疲弊するケースワーカー

八千代市は、急増する生活保護受給者に、現在、査察指導員3人、ケースワーカー18人で、一人あたり82ケースを対応しています。しかし、病気で一人少ない状況のなかで、受け持ちがさらに増え仕事上のミスも生まれています。あらためて、ケースワーカーの増員で、働きやすい職場で、懇切丁寧な相談活動が求められています。